白川地区まちづくり協議会における『親子ふれあい』活動への取り組み

白川地区は、亀山市の北西部に位置する尾根沿いの集落、上白木、下白木の白木地区および小川地区の3自治会からなっています。西の明星ヶ岳、北の雨引山に抱かれ、前田川および椋川が流れ、自然豊かな地域です。また、白木、小川地区の児童が通う白川小学校があり、亀山市内で唯一の小規模特認校であり、通学区域外からの入学・転学が認められており、現在（令和4年度）の児童数は48名となっています。

地域の過疎化、少子高齢化が進んでおり、人口729人（R4.4現在）で高齢化率39.5%と40%に迫る勢い、一方、0歳児から12歳児の年少化率は僅か6%程度です。これは子どもが少ないことを表しており、白川小学校は地域の核であり、子ども達は地域の宝！であり、とても貴重ということです。

特に『親子ふれあい』行事についてはまちづくり協議会運営では強く意識しながら企画しています。例えば、5月の「小学校・地区大運動会」、6月の「地域一斉清掃奉仕」および「BBQ大会」10月の「スポーツ大会」、2月の「駅伝大会」は親子が触れ合う貴重な行事となっています。また、「夏祭り」、「敬老会」、「明星祭」は3世代交流の場となっています。また、児童・父兄と地域が共同で原木の切り出しから炭焼き、販売まで一貫した「炭焼き」事業、「子育て支援」事業他サツマイモ栽培、そば栽培、土曜授業（木工教室や昔遊び）などを実施しています。

白川地区まちづくり協議会では運営委員を会長、事務局をはじめ4部会正副部長、3自治会、4団体（老人クラブ、婦人会、愛好会、子ども会）、PTAの正副会長、白川小学校校長、教頭、民生・児童委員、福祉委員、郵便局、農協等34名で組織し、地区の運営を活性化すべく共同体としての自治体機能を有しながら、運営委員会やホームページ等を通じて情報発信し、伝承していくことが、今後の白川地区のまちづくりに必要不可欠となっています。

『親子ふれあい』活動は白川小学校および学校運営協議会（CS会議）およびまちづくり協議会が一丸となって支えています。

https://xsshirakawa.xsrv.jp/kameyama-mie/